



三道作命第十七号

才三遊撃隊命令

昭和十九年四月廿一日

一 昭和十九年度第三遊撃隊警備召集待命者要員

(謝花教育隊分) 八月廿一日警備召集待命ヲ令セラル

二 部隊ハ一月廿日発令、警備召集ト共ニ陣地構築促進、

タメ前項要員、警備召集ヲ實施セントス

三 今歸仁村召集事務分担者 陸軍伍長 宮城良雄

本部町 陸軍伍長 岸本弘

右、者二月廿八日召集事務取扱者ヲシテ召集事務ヲ

實施セシムベシ

四

陸軍々曹 金城前光

陸軍伍長 伊藝光知

右、者二月廿八日召集事務及入隊兵取扱事務ヲ援助スベシ

五 警備召集時ニ於ケル給養ハ旭記ニ依ル

二月一日晝食、現品携行

二月一日夕食、各中隊

本部町ハオニ中隊拵出
今歸仁村、分ハ本部拵出

六 各隊ハ本警備召集ニ伴、入隊準備ニ遺憾ナキヲ期スベシ

七 予ハ谷父岳據点ニ
二月一日ハ、羽地村後村
二月一日ハ、名護中三中學校ニ在リ

才三遊撃隊長

村上治夫

下達法 各隊長防召事務員ヲ集メ口達後印刷交付

報告(通報)先 32Aニ歩出遊

佐作命 第十號

第一大隊命令

一五六一六
真部山 第一大隊本部

一 國頭支隊ハ新ニ配屬セラレタル 斯加式九糧速

射加濃砲二門 昨夕迄久地ニ到着セルヲ以テ

該火砲揚陸ノ後 伊江岳ニ搬送セラル

二 大隊ハ右火砲揚陸作業ヲ実施スルト共ニ辺名

地附近ニ対空射撃部隊ヲ配屬シ本揚陸

搬送間対空援護ニ任セントス

三 第六中隊長ハ本二十五日一七〇〇下士官以下

四十名ヲ第四中隊長ハ明日二十六日一四三〇下士

官以下四十名ヲ各、迄久地埠頭ニ差本ニ三津

家中尉、指揮ヲ受ケムヘシ

四 第一機関銃中隊長ハ部下一々小隊ヲ辺名地附

近ニ配置シ本揚陸搬送間対空援護ニ任セムヘシ

第1	第2	第3	第4

四遊作命第十二號

第四遊撃隊命令

一月二四日
安富 相

- 一 部隊ハ嘉手納ニ於テ集積糧秣ノ補給ヲ受テ
- 二 部隊ハ右糧秣ノ監視並ニ輸送ヲ實施セントス
- 三 第三第三中隊ヨリ左記兵力ヲ差出シ中島少尉ノ指示ヲ受ケシムベシ 細部ハ別ニ指示ス

左記

（Faint handwritten text in vertical columns, likely a detailed report or log, mostly illegible due to fading and bleed-through.)



四余ハ安富祖本部ニ在リ

第四遊撃隊長 岩波大尉

下達法 要旨口達後印刷交付

報告(通報)先 國支本部

平作命第十二號

平山 隊命令

一月二十四日一八〇

一大砲砲兵工廠現地修理班ハ四泊五日ノ豫定ヲ以テ火砲修理ノ為本日
來隊セリ

二中隊ハ一部ヲ以テ該修理班ノ作業ニ連繫シ現態勢ノ儘火砲ノ整備
ヲ實施セントス

三戰砲隊ハ火砲ノ船窪台ヘノ運行ヲ中止シ現態勢ノ儘現地修理班ノ作業
ニ連繫シ主カヲ以テ火砲ノ整備ニ一部ヲ以テ陣地構築ニ任ズベシ

修理完了セバ右分隊砲架車ヲ船窪台ニ運搬スベシ
左分隊火砲ノ船窪台ヘノ運搬ニ関シテハ別命ス

四現地修理班ノ宿營給養ハ當隊ニ於テ之ヲ担任ス
銃列長ハ之ガ該營ニ任ズベシ

五其ノ他ハ前任務ヲ續行スベシ

下達法 口達

隊長 平山 大尉

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

第四遊撃隊長 岩波大尉

五其ノ外ハ前出隊ヲ懸行スルニ

其ノ外ハ前出隊ヲ懸行スルニ

其ノ外ハ前出隊ヲ懸行スルニ

其ノ外ハ前出隊ヲ懸行スルニ

其ノ外ハ前出隊ヲ懸行スルニ

其ノ外ハ前出隊ヲ懸行スルニ

其ノ外ハ前出隊ヲ懸行スルニ

平井命第十二號

平山 新命令

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

四遊 作命第十四號

第四遊撃隊命令

昭和二十一年一月二十日

一部隊ハ字作命第十九號ニ基キ一月二十日ハ〇〇
 警言備召集ヲ實施シ陣地構築及少力促
 進ヲ圖ラントス

二各隊ハ口口集後直ニ現作業ヲ續行スヘシ

三余ハ安富祖本部ニ在リ
 第四遊撃隊長 岩波大尉

下達法 各隊長ヲ集メ口達
 報告先 國頭支隊

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

陣地 屋比久²³⁷高地 黒山嶽 船窪台
六余六観測手一ヲ伴ヒ本五日先行シテ伊江島ニ在リ

隊長 平山大尉

下達法 指揮小隊長ニ口達
報告(通報先) 2i I/2i II/2i 50ab

四遊作命第十五陸

第四遊撃隊命令

一月廿一日。八。八。
安富祖

部隊ハ字作命第二十八號ニ基キ二月一日。八。八。
残余待命者ノ警備召集ヲ實施セントト又
各隊ハ所要ノ人員ヲ召集地域町村ニ派遺シ
召集者ヲ集合セシメタル後速ニ安富祖本部
位置ニ集結セシムヘシ
三余ハ安富祖本部ニ在リ

第四遊撃隊長 岩波大尉

丁 達 法 各 隊 長 ヲ 集 メ 口 達
報告(通報)先 國 願 支 隊 本 部

四 遊 作 命 第 十 六 號

第 四 遊 擊 隊 命 令

一月四日
安富祖

部隊ハ第一次作業ニ引續キ第二次作業及補備
作業ヲ實施シ速ナル概成ヲ期セシトス

各隊ハ別冊第四遊擊隊戰鬥計畫ニ基キ第二次
作業ヲ準備スルト共ニ第一次作業概成後直ニ
第二次作業ヲ實施シ二月十八日迄ニ概成スヘシ
細部ニ関シテハ別ニ指示ス

三 補 備 作 業 ニ 関 シ テ ハ 逐 次 指 示 ス

四 余ハ安富祖本部ニ在リ

第四遊擊隊長 岩波六寸

者	帶	官	長
		安富祖	

下達法 要旨口達後印刷交付
報告通報先 國頭支隊本部

四遊作命第十七號

第四遊撃隊命令

三月五日 一三〇〇
安富 祖

一 部隊ハ第二次作業着手ニ先立テ態勢ヲ整備
セントス

二 名護分屯隊長ハ部隊ヲ撤收シタル後七日迄

ニ安富祖部隊本部ニ復歸スヘシ

三 山城軍曹ハ兵四ヲ指揮シ名護第三中學校ニ位
置シ國頭支隊トノ連絡ニ任スヘシ

四 各隊ハ尤ノ如ク兵力ヲ差出シ山城軍曹ノ指揮
ニ入ラシムヘシ

第一中隊

兵一

